

## オンデマンド PCR”GeneXpert システム”について

◎田島 久大<sup>1)</sup>

ベックマン・コールター株式会社 マイクロバイオロジー事業部 マーケティング部<sup>1)</sup>

世界の臨床検査の現場に PCR (polymerase chain reaction) を原理とした遺伝子検査が導入されてからすでに 20 年以上が経った。日本国内においても遺伝子検査によるルーチン検査が一般化されつつある中、米国に本社を持つ Cepheid 社は、核酸抽出から増幅・検出までを可能とする全自動遺伝子解析装置「GeneXpert® システム」を開発・製造・販売している（日本国内においては 2017 年 10 月にベックマン・コールターに統合）。当システムは、日本国内においても 2014 年に医療機器として販売が開始されている。また検査項目に関しては、体外診断用医薬品として結核菌群遺伝子検出およびリファンピシン耐性遺伝子検査試薬 Xpert MTB/RIF「セフィエド」、クロストリディオイデス・ディフィシル毒素遺伝子検出試薬 Xpert C.difficile「セフィエド」を含む、6 項目が国内で発売されている（海外では医療関連感染症、性感染症、重篤な感染症、オンコロジーなど 30 項目が発売）。

今回は、「GeneXpert® システム」の概要および主要な検査項目について概説する。